

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月30日

計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備（その2）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	寝屋川市												
計画の目標	公共下水道施設の計画的、効率的な維持管理を進めるため、ストックマネジメント実施方針に基づく計画を策定したうえで、木田地区及び本町・黒原地区における長寿命化事業や南前川ポンプ場の計画的な改築更新を進めます。 また、大規模な地震時でも、下水道の有すべき機能を維持するため、下水道施設の地震対策に関する下水道総合地震対策計画を策定します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	460	A	460	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	ストックマネジメント実施方針に基づき計画を定める。 ストックマネジメント実施方針（計画）策定率 実施方針策定計画面積（ha）/事業計画区域面積（ha）	0%	100%	100%
2	計画期間内に予定している管渠の改築更新率を0%(H31)から100%(R4)に完了させる。 計画期間内に予定している管渠の改築更新率(%) 計画期間内の改築更新済管渠延長(m)/計画期間内の改築更新管渠延長(m) 計画期間内の改築更新管渠延長:L=1,435m	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	管渠(合流)	改築	ストックマネジメント計画	A=2,384ha	寝屋川市						20		策定中
	管渠(雨水)、管渠(汚水)、ポンプ場																		
	A07-002	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	管渠(合流)	改築	ストックマネジメント事業	実施設計 点検調査 改築工事 計画策定	寝屋川市						412		策定中
	管渠(雨水)、管渠(汚水)、ポンプ場																		
	A07-003	下水道	一般	寝屋川市	直接	寝屋川市	管渠(合流)	改築	下水道総合地震対策計画	A=2,384ha	寝屋川市						28		未策定
	管渠(雨水)、管渠(汚水)、ポンプ場																		
											小計						460		
											合計						460		

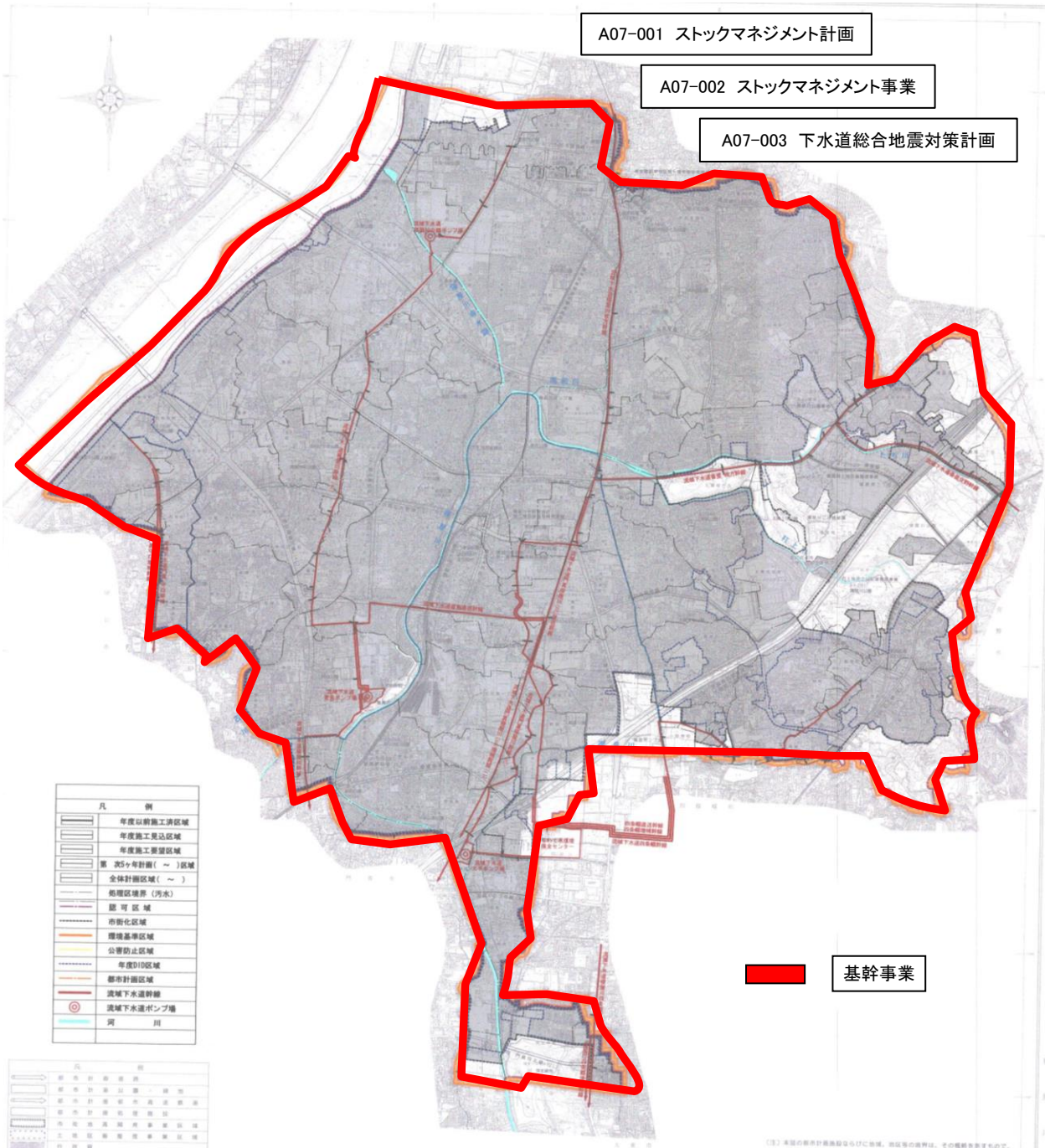
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	9	19	0	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	9	19	0	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	9	19	0	0	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3)

計画の名称	寝屋川市公共下水道の整備（その2）（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）	交付対象	寝屋川市



事前評価チェックシート

計画の名称： 寝屋川市公共下水道の整備（その２）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○